



管機連だより

(一社) 全国管工機材商業連合会

スローガン

1. 適正利潤の確保
1. 取引改善の徹底
1. 工・製・販の協調
1. 組合認識の高揚
1. 環境保全の推進

年頭所感

【一般社団法人全国管工機材商業連合会】



大藪 淳一 会長

令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には巳年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、年初に発生した能登半島地震をはじめ、地震、度重なる豪雨など、甚大な自然災害が各地で発生しました。被災地の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

能登では、道路や上下水道等のインフラに大きな被害が生じ、全国の工事関係者が長期に亘り、インフラの復旧支援に携わって来られました。改めて敬意を表します。

当会（管機連）では、従来より、ライフラインを支える業界の一翼としての責務を果たすべく、傘下の会員組合とともに、管工事関係団体等と災害発生時における資材提供等について協定を締結してきました。昨年の能登半島地震の教訓を踏まえ、更に、管工機材商組合が未組織の地域においても、特別会員企業等による当該地域の協定締結を後押しし、災害協定の全国化に努めているところです。

さて、昨年の我が国経済は、高水準の企業収益による設備投資の増加や賃上げ、インバウンド需要の拡大等による個人消費の緩やかな上昇などを反映し、景気は回復基調を持続しました。

迎えた令和7年の景気は、個人消費や設備投資が、やや鈍化するものの、当面、増加傾向が続くと見込まれています。一方で、エネルギー価格や物価の高

止まり、為替の乱高下、金融政策転換のインパクト、自然災害、国際紛争の長期化などの下振れリスクを抱えており、また、労働市場の人手不足、求人難は、当会傘下の中小企業にとって、大変深刻な問題となっています。

世界に目を転じると、ウクライナ情勢やイスラエル・ハマス等に端を発した中東問題をはじめ、国際政治情勢は依然として深刻な状況が続いています。従来の多国間協調関係が揺らぐ中、米国トランプ共和党政権の誕生により、世界及び日本の政治経済への影響はなお不透明な状況です。

当業界も、コロナ禍の3年間を乗り越え、企業活動も活発化してきましたが、資機材の価格上昇や、新築住宅着工の急減など、当面の見通しは全体的に厳しくなっているとの認識です。

また、人口減少等もあり、これに伴う住まい方、働き方などに変化が見られる中、市場ニーズに合った機器類や商材の提供も重要となっています。

このような環境変化に対応できるよう、当会（管機連）は、更なる「組織の増強」、「製・工・販の連携」、全管連と連携した「災害協定の推進」、「情報収集・情報発信」など、重点的な課題への取り組みを通じて、暮らしと産業のライフラインを支える業界としての認知度、プレゼンス（存在感）を高め、業界の繁栄と安心・安全な社会の実現に寄与しまいたいと決意を新たにしております。全国18組合、特別会員、賛助会員とともに、事業活動を展開してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年に当たり、管工機材業界の益々の発展と皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。



【経済産業省 製造産業局 素材産業課長】



土屋 博史 様

令和7年の新年を迎え、謹んでお喜び申し上げます。また、平素より経済産業行政に対する深いご理解と格別のご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

いま、世界は大きな転換期を迎えています。保護主義の台頭やウクライナ侵攻の長期化等による地政学リスクの高まりや、AI等の技術革新の加速化、気候変動をはじめとした地球規模課題に対する各国政府の関与の強まり等、様々な構造的変化が生まれています。

そのような中、実に30年ぶりとなる水準の賃上げ、100兆円を超える攻めの設備投資、史上最高値水準の株価、そして名目GDPが初めて600兆円という大台を超えるなどの成果があります。一方で、足下の物価高を背景に、消費は力強さを欠いています。物価高に負けない持続的な賃上げを実現し、これを更なる消費と投資へ繋げていくため、経済産業省としても、皆様からの様々な声を踏まえ、引き続き全力で取り組んでまいります。

昨年末に案が示されたGX2040ビジョンでは、「GX産業構造」、「GX産業立地」、「GX加速に向けたエネルギー分野」などの取組を総合的に検討し、事業環境の変化が激しい中でも企業の予見可能性を高めてGX投資につなげるべく、GX実現に向けた長期的な見通しを示しました。GXに向けた取組は、サプライチェーン全体でのマーケットイン型の製品供給と組み合わせてビジネスチャンスにつながる成長戦略そのものとなっています。

他方、日本全体のCO₂排出量の約1/4を占める鉄鋼・化学・紙パルプ・セメントといった産業部門は、“Hard-to-abate”（排出削減が困難なセクター）

と言われるように、GXの実現は容易ではありません。こうした課題に対応すべく、グリーンイノベーション基金を活用した、CO₂からの機能性化学品製造技術、CO₂固定化コンクリートの製造技術な

どを開発するプロジェクトを着実に進め、その成果の実装を追求するとともに、GX経済移行債を活用した、排出削減に資する製造プロセス転換や燃料転換への設備投資支援、GX-E T S（排出量取引制度）の検討などを引き続き行ってまいります。

また、産業特性を踏まえたグリーン市場の創造についても、GX製品の価値の「見える化」の取組など様々な施策を組み合わせることで進めていきます。

国際情勢が厳しさと複雑さを増す中、経済安全保障に関する産業・技術基盤に影響が及ぶリスクが拡大しており、これに対処すべく、基盤を支える産業界の取組強化と政策の連動が欠かせません。特に素材産業は、自動車や電機電子、医薬品・消費財、建設資材など、我々の身の回りにある多様な製品を供給する基幹産業です。サプライチェーンの要である素材産業において、技術の更なる優位性や重要物資の安定供給を確保することで、国内産業全体のサプライチェーンをより強靱化していくべく、引き続き産業界と密に連携しながら全力で取り組んでまいります。

産業界が直面する課題は、官も民も一歩前に出て取り組まなければ解決ができません。国内外で活躍されている産業界の皆様との日々の対話を通じ、将来につながる日本の経済基盤をともに形作っていきたいと考えております。

また、本年は大阪・関西万博の開催年であり、開催まで約3ヶ月となりました。万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、世界中の来場者を出迎え、「未来社会の実験場」として最先端分野を発信・社会実装する機会となります。ぜひ、ご家族やご友人と一緒に足を運んでいただきますようお願い申し上げます。

新たな時代に向け、経済産業省としては、これまでに述べたような様々な施策を総動員し、産業界の皆様とも連携しながら、素材産業の成長のために全力を尽くしていく所存です。この新しい時代を迎えるにあたって、皆様の御健康と御多幸を、そして素材産業の更なる発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

訃報

令和6年12月27日、当会名誉顧問の足立敏之参議院議員が滞在先のモルディブ共和国において不慮の事故でご逝去されました（享年70歳）。平成30年7月以来、当会の名誉顧問として、総会、理事会等において国政報告や建設行政のご講演をいただくなど、多大なご支援を賜りました。心よりお悔やみを申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。



令和2年3月理事会にて（中央が足立名誉顧問）

本部ニュース

【愛知組合主催の総合展開催】

テーマ「管材・設備の歩みを観よう。」

10月10日(木)から12日(土)まで、愛知県管工機材商業協同組合主催の第34回管工機材・設備総合展が名古屋市の吹上ホールで開催されました。

当連合会から来賓として大藪会長、橋本名誉会長、直木事務局長が出席され、大藪会長と橋本名誉会長がテープカットを務めました。

また、東京組合から落合理事長、関口副理事長、根岸事務局長、大阪組合から木澤理事長、九喜副理事長、栗井副理事長、久門常務理事、岡崎常務理事、土井理事、妻鳥事務局長が来賓として出席しました。同展示会の出店規模は、126社・団体、256小間、来場者数は3日間で1万1854名で、大盛況のうちに閉幕しました。



テープカット：大藪会長、橋本名誉会長
（左から2人目）（右から2人目）



会場の様子

管機連

【正副会長会議】

令和6年12月16日（月）12時30分より、日本工業倶楽部会館 5階「第2小談話室」にて正副会長会議が開催されました。



正副会長会議

【第27回 管工機材の将来を考える研究会】

令和7年12月16日（月）12時30分より、
日本工業倶楽部2階「大会堂」において、第27
回 管工機材の将来を考える研究会が開催されま
した。

■元内閣官房国家安全保障参与 宮川 眞喜雄 様
(テーマ「国際情勢」)

■(株)日本政策総研 代表取締役社長 宮脇 淳 様
(テーマ「日米政策と2025年日本経済」)

■清水英雄事務所(株)代表取締役社長 清水 大悟 様
(テーマ「建築基準法改正」)



「建築基準法改正」：講師 清水 大悟 様

続いて、橋本名誉会長より、最近の世界や我が国の
トピックスやマーケットの状況、業界の課題等
について報告がありました。



「国際情勢」：講師 宮川 眞喜雄 様



トピックス、マーケット等の報告：橋本名誉会長



「日米政策と2025年日本経済」：
講師 宮脇 淳 様

【令和6年度第2回理事会】

令和6年12月16日（月）13時30分より、
日本工業倶楽部会館 2階「大会堂」において、
令和6年度第2回理事会が開催されました。
始めに大藪会長より開会挨拶があり、続いて
会長が理事会の議長を務めること、また理事会の
定足数を満たしており理事会が有効に成立してい
ることが確認され、議案審議に入りました（理事
総数23名のうち来場15名、WEB出席2名の
計17名の理事が出席）

《議案》

第1号議案

特別会員の加入承認について

- (1) 株式会社 みちのく管材
- (2) 株式会社 安謝鋳物商事
- (3) 株式会社 本久 (現 長野組合組合員)
- (4) 橋本総業株式会社 (現 東京組合等組合員)

災害協定の締結を機に、加入申請があり、原案どおり可決承認されました。

第2号議案

岩手県管工機材特約店会の会長交代 (令和6年5月28日) に伴う、管機連理事の変更について

就任: 吉田 和洋 様 (現会長 (株) 坂田管機材)

退任: 藤村 文昭 様 (前会長 ((株) 藤村商会)

原案どおり可決承認されました。

第3号議案

功労者に対する感謝状及び記念品の贈呈について

- (1) 功労者 退任役員: 藤村文昭理事
(岩手組合)
- (2) 感謝状及び記念品 (商品券2万円) を贈呈する

原案どおり可決承認されました。

第4号議案

令和7年度の夏休みについて

13日(水)、14日(木)、15日(金)の3日間とする

原案どおり可決承認されました。



理事会 (日本工業倶楽部会館大会堂)

【臨時社員総会】

続いて、令和6年12月16日(月)15時10分より、日本工業倶楽部会館2階「大会堂」において臨時社員総会が開催されました。

大藪会長が議長に指名され、臨時社員総会が有効に成立していることが確認されたあと、議案審議に入りました(正会員総数18のうち、来場10、WEB参加2の計12で、定足数(正会員の過半数の出席)を満たしていることを確認)。

《決議事項》

第1号議案

新役員の選任決定の件

理事就任 吉田 和洋 様 (岩手組合)

原案どおり可決承認されました。

《報告事項》

功労者表彰 藤村 文昭 様 (岩手組合)

感謝状と記念品の贈呈が報告されました。



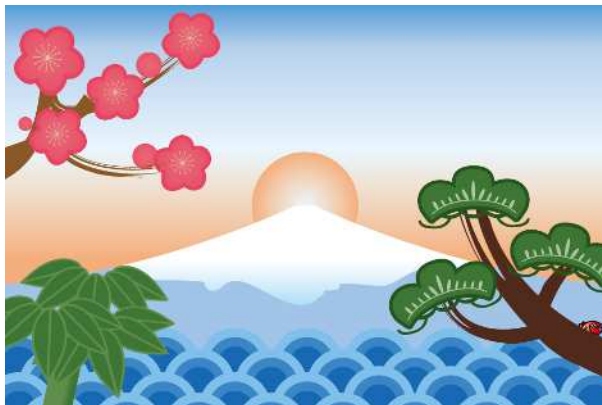
理事会 大藪会長ご挨拶



理事就任ご挨拶 吉田 和洋 様 (岩手県管工機材特約店会会長)

【意見交換会】

令和6年12月16日(月) 15時50分から、
日本工業倶楽部会館 3階「中ホール」において、
意見交換会が開催されました。



掲示板

○賛助会員

桑名金属工業株式会社

株式会社プロテリアルから配管機器の事業部
門が独立

社名変更（令和6年8月1日）

新社名：桑名金属工業株式会社

旧社名：株式会社プロテリアル

本社：〒511-8551 三重県桑名市大福2番地

TEL 0954-24-2000(代)

FAX 0954-24-2429

東京窓口

〒104-0032

東京都中央区八丁堀4-11-5

八丁堀岡谷ビル6F

TEL 03-6275-2501

